

新須磨リハビリテーション病院

取り組み



部内チーム活動



リハ栄養チーム

低栄養、サルコペニア患者さんの経過を管理し、リハ栄養研修を実施し、リハ栄養委員会で運動負荷量、補助栄養などを相談します。



心リハチーム

心疾患が既往にあるリスクが高い患者さんを把握し、リスク管理に関する教育研修を実施します。



脳卒中リハチーム

運動量増加機器加算算定標準的評価内容を検討し、脳画像検討会を実施します。

リハビリテーション専門医による装具回診



週1回1時間
装具使用患者さんについて

使用装具の選定の相談

装具作成の検討



新須磨リハビリテーション病院

新人教育



新人教育全体の構成



従来型 vs ユニット体制



従来のプリセプター制

1対1の密接な指導
(指導者の不在や相性に左右されやすい)



進化版：ユニット体制

1対多のチーム支援
安定した教育環境と多様な学び

ユニット支援の構造



4つの守護の輪

多重のセーフティネット: 誰かが休みでも必ず相談できる人がいます

技術の幅が広がる: 複数の先輩から異なるコツを学べます

風通しの良さ: チーム全員があなたのステップアップを把握しています

新須磨リハビリテーション病院

継続教育



ラダーを活用した継続教育



目的

自身の立ち位置を知り、課題を明確にする



方法

個人面談を中心に、すべきことを確認し目標を定める



項目

臨床基礎力、臨床実践力、管理運営能力

新人教育から継続教育の流れのイメージ

1～2年目

必要に応じて指導を求めながら、
基礎的（ベーシック）理学療法・作業療法・言語療法を実践できるレベル

登録理学療法士
登録作業療法士
取得を目指した協会
前期研修

当院新人教育プログラム

3～5年目

多様な領域で標準的（スタンダード）理学療法・作業療法・言語療法を臨床実践でき、学生や後輩を指導できるレベル
多様な障害像に対応できる能力を有する「ジェネラリスト」の育成

登録理学療法士
登録作業療法士
取得を目指した協会
後期研修

6年目以降

頻度の高い疾病と傷害に伴う障害、それらの予防、保健と福祉など、健康と人生にかかわる幅広い問題について、わが国の社会保障体制の中で、適切な対応と必要に応じた連携を全人的視点から提供できる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士としての態度、知識、技能を身につける

登録理学療法士
登録作業療法士
取得・更新
専門・認定理学療法士
専門・認定作業療法士
取得・更新

ラダーを中心とした継続教育

新須磨リハビリテーション病院

部内運営



患者担当運営の構造

